

2026年 1月22日

京成電鉄株式会社

更なる輸送の安全確保のために

京成線全線でデジタルATS

「C-ATS」の整備が完了します

1月24日(土)より、松戸線(鎌ヶ谷大仏～北習志野)で導入

京成電鉄(本社:千葉県市川市、社長:天野 貴夫)では、1月24日(土)始発より、松戸線(鎌ヶ谷大仏～北習志野)に保安度の高いデジタルATS「C-ATS」を導入します。これにより京成線全線での整備が完了します。

「C-ATS」は、それぞれの信号区間に合わせたより細かい速度照査(スピードチェック)が可能になり、信号区間内を連続的に制御することができます。また、急曲線区間や分岐区間(ポイント)、線路終端部などでの速度制限にも対応するほか、駅誤通過時の踏切防護機能を有しており、従来のATSよりも保安度がさらに向上します。

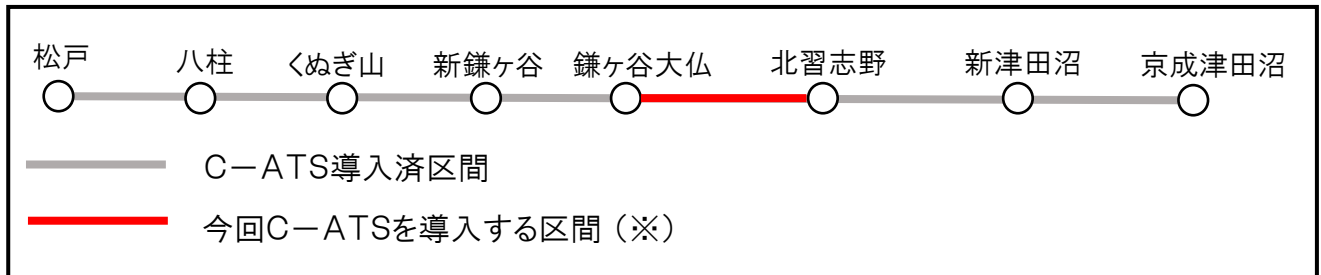
京成電鉄では2016年に「C-ATS」の導入は完了しておりました。一方、新京成電鉄では2014年から「C-ATS」の整備に着手し、2025年4月の松戸線開業後も整備を進めておりましたが、この度完了に至ったものです。

京成電鉄は、これからも安心してご利用いただける鉄道を目指し、輸送の安全確保に努めて参ります。

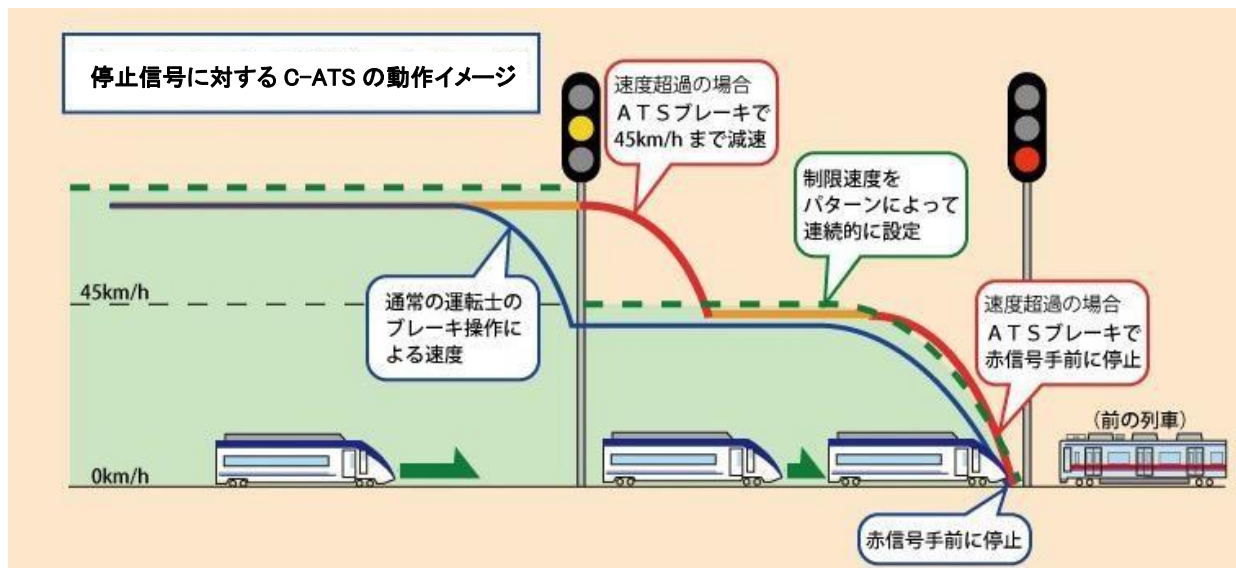
「C-ATS」導入の概要は次頁のとおりです。

「C-ATS」の導入について

1. 導入設備 C-ATS
2. 導入日 2026年1月24日(土)始発時
3. 導入箇所 松戸線(鎌ヶ谷大仏～北習志野)



※ 今回のC-ATS導入により、京成線全線での整備が完了。



以上

【参考:ATSについて】

列車を「安全・正確・迅速」に運行するための装置の一種で、自動列車停止装置 (Automatic Train Stop)の略称です。

運転士の失念や錯覚などの人的要因、濃霧や吹雪などの自然的要因により、信号機が示す条件(例:赤⇒停止など)に合った運転操作をしていない列車に対して、運転士への警報とともに列車を自動的に停止または減速させ、未然に事故を防止するバックアップ装置です。

今回、全線への導入が完了する「C-ATS」では従来のものよりも細かく列車の速度制御が可能になるため、保安度が一層向上します。